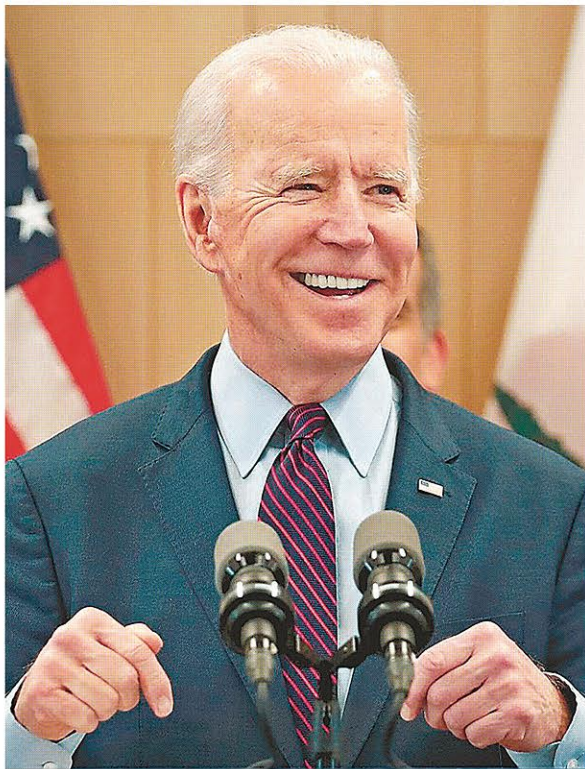


バイデン氏勝利

米大統領選

「団結し傷癒やす時」

最重要州 ペンシルベニア制す



米大統領選で勝利した、と報じられた民主党のバイデン前副大統領(ロイター共同)

【ワシントン共同】米主要メディアは7日、米大統領選で民主党のバイデン前副大統領(77)が勝利したと報じた。激戦だった最重要州の東部ペンシルベニアを制し、当選に必要な選挙人の過半数を獲得した。共和党のトランプ大統領(74)は「選挙はまだ終わっていない」との声明を出した。法廷闘争に意欲を示しており、最終決着するかどうかは不透明だ。

世界が注目する超大国の指導者選びは、内外に混乱を招いたトランプ政治との決別を選択した。現職大統領の敗北となれば1992年のブッシュ

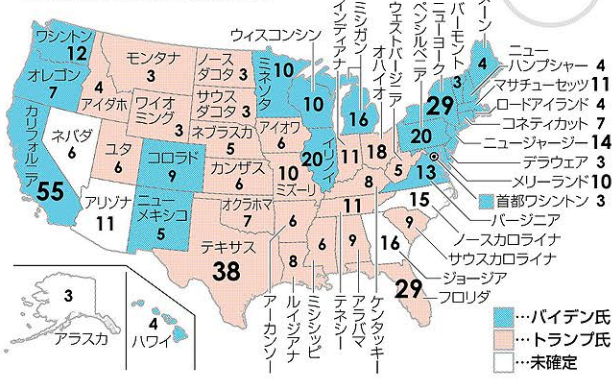
(父)氏以来。副大統領にはアジア系で黒人のハリス上院議員(56)が就き、女性として米史上最高の政治的地位を手にする。バイデン氏はツイッターに「私は全ての米国人の大統領になる」と書き込み、声明で「米国は団結し傷を癒やす時だ」と訴えた。

当選の条件は全50州と首都ワシントンに割り当てられた選挙人538人の過半数の獲得。バイデン氏は273人、トランプ氏は214人を確保した。バイデン氏は新型コロナウイルス対策で拡大した郵便投票の集計に伴い、得票を着実に伸ばした。



2020 米大統領選 選挙人獲得状況

※米主要メディアによる。首都ワシントンはバイデン氏が獲得。地図の数字は各州の選挙人数。勝者総取りでないメーンとネブラスカは、バイデン氏とトランプ氏の獲得人数がそれぞれ3対1、1対4。写真はAP



日本時間
8日未明